

いるかHotel vol.21 『破稿 銀河鉄道の夜』

阪神淡路大震災から 25 年後の 2020 年 1 月 17 日、
劇団旗揚げのきっかけにもなった傑作を、3 世代のトリプルキャストで上演

神戸アートビレッジセンター [KAVC] (神戸市兵庫区、指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団、館長：大谷燠) は、いるかHotel (いるかほてる) 『破稿 銀河鉄道の夜』 (やぶれこう ぎんがてつどうのよる) の公演を開催します。

『破稿 銀河鉄道の夜』は、阪神淡路大震災の翌年、1996 年 10 月に高校演劇コンクール神戸市大会で県立神戸高校により初めて上演された作品です。審査員からの圧倒的な評価を得て、1997 年には全国大会でも上演されました。登場人物が女子高生三人だけの約 70 分のこの作品は、その後、阪神淡路大震災を描いた作品というだけでなく、大切な存在を失った人間がどのように退行し、邂逅して立ち上がっていくかを描いた傑作として全国の高校で上演され、高校演劇界では「破稿 (やぶれこう)」の名で親しまれる作品になりました。特に、東日本大震災などの大災害後の地域で多く上演され続けています。

いるかHotel はもともと、『破稿 銀河鉄道の夜』を高校演劇という限られた枠だけでなく、一般にも広く知らせたいという目的で生まれたカンパニーでもあります。今回の公演では、可能な限り若い女優に演じてもらいたい！との演出家の想いからオーディションを実施し、震災を少しでも経験した世代、震災後に生まれた世代、そして、いままさに登場人物と同世代の 3 世代が、トリプルキャストで上演します。

20 年以上の歳月を経て、今回、阪神淡路大震災 25 年後にあたる 2020 年 1 月 17 日に再び上演される『破稿 銀河鉄道の夜』。今回の公演は、あの日々を、この 25 年間の「生」を再確認するためであり、この物語の普遍性を確かめるためでもあります。そして、いままさにこの物語が必要な人々へ向けても公演します。

会 場：神戸アートビレッジセンター KAVC ホール

公演日：2020 年 1 月 15 日 (水) ～ 1 月 19 日 (日)

1 月 15 日 (水) 19:00 【A】

1 月 16 日 (木) 16:00 【B】 / 19:30 【A】

1 月 17 日 (金) 16:00 【C】 / 19:30 【B】

1 月 18 日 (土) 12:00 【A】 / 16:00 【B】 / 19:00 【C】★

1 月 19 日 (日) 12:00 【C】 / 16:00 【A】

※トリプルキャスト公演

※受付開始は開演の 45 分前、開場は開演の 30 分前

★1 月 18 日 (土) 19:00 の回終演後、アフタートークあり

脚本・演出：谷省吾

作：水野陽子

キャスト

【A】 仲村綾美 / 山崎永莉 (眞珠座。) / うめいまほ (VOGA)

【B】 吉迫綺音 / 芳野桃花 / あゆみ

【C】 占部叶乃香 / 高岡志帆 / 毛利あかり

チケット料金：

【全席指定】

一般前売 2,800 円 (当日 3,000 円)

高校生以下 1,500 円 (一律) ※要証明書提示



企画・主催：いるか Hotel 担当：谷省吾

TEL 090-1228-3195 FAX 06-6372-7388 Mail irukahotel999@gmail.com

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

会場・共催：神戸アートビレッジセンター (指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団) 担当 竹下・野澤

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356